

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

赤潮・貝毒プランクトン調査の結果、魚類を死滅させるおそれがあるコクロディニウムポリクリコイデスが最大で 4細胞/mL 確認されました。今後、海色等には十分注意し、給餌などの作業を行ってください。また、魚類を弱らせるおそれがあるディクチオカ フィビュラが最大で 8細胞/mL 確認されました。

※(本日は、海水 1mL でプランクトンの検鏡を実施しております。)

調査時間 (8:30~9:30)	水深	水温	塩分	溶存 酸素	コクロディニウム ポリクリコイデス	ディクチオカ フィビュラ	ギムノディニウム カタナータム
採集地点	(m)	(°C)	(psu)	(mg/L)	*1	*2	*3
ヒロウラ 下図①	0	-	-	-	0	1	0
	5	-	-	-	2	8	0
	10	-	-	-	0	0	0
猩々箸 下図②	0	-	-	-	0	1	0
	5	-	-	-	0	1	0
	10	-	-	-	0	0	0
栄喜 下図③	10	-	-	-	0	1	0
青瀬山 下図④	10	-	-	-	4	0	0

*1: 魚類を死滅させるおそれがある種 (細胞/mL)

*2: 魚類を弱らせるおそれがある種、*3: 麻痺性貝毒の原因種

※魚類を死滅させるおそれがある種の注意報及び警報値

	注意報	警報	数値の参考県
コクロディニウム ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1,000 細胞/mL	香川県

〈下図〉

